

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月16日

上場会社名 古野電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6814 URL <http://www.furuno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 井澤 亮三 TEL 0798-63-1017
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	16,700	△3.5	△419	—	6	△98.5	△407	—
25年2月期第1四半期	17,299	△3.1	56	△66.8	416	32.6	52	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期892百万円 (△19.4%) 25年2月期第1四半期1,107百万円 (113.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	△12.93	—
25年2月期第1四半期	1.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	72,106	35,454	47.7	1,091.19
25年2月期	72,672	34,697	46.4	1,069.76

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 34,421百万円 25年2月期 33,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	2.50	—	4.50	7.00
26年2月期	—				
26年2月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	37,000	1.5	400	△63.6	1,000	△28.8	400	△56.0	12.68
通 期	75,500	5.4	2,300	88.8	2,700	26.0	2,000	27.8	63.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期第1Q	31,894,554株	25年2月期	31,894,554株
② 期末自己株式数	26年2月期第1Q	349,675株	25年2月期	349,525株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期第1Q	31,544,929株	25年2月期第1Q	31,545,242株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、総じて緩やかに回復が進みました。米国では、雇用情勢の改善が進み、個人消費や住宅投資などが堅調に推移しました。欧州では、輸出回復の遅れや雇用環境の悪化による消費控えなどの影響により、引き続きマイナス成長となりました。アジア経済は減速傾向がみられたものの、中国を中心に景気の拡大が続きました。わが国経済は、景気対策と円安の追い風を受けて内外需とも回復が進み、生産活動や雇用情勢にも改善が見られました。

このような経済環境の中、当社グループの主要なマーケットであります船用事業の分野では、商船市場が新船建造、リプレース（換装）とも需要が伸び悩む一方で、プレジャーボート市場は小型艇を中心に需要の回復傾向が続きました。当第1四半期連結累計期間の米ドル及びユーロの平均為替レートはそれぞれ88円及び120円であり、前年同期に比べ米ドルは約13%、ユーロは約15%の円安水準で推移しました。

当社グループにおきましては、円安の追い風を受け、成長市場の開拓や販売拡大に積極的に取り組みましたが、船用事業では、漁業市場向けの売上が増加した一方で、商船市場向けの売上は伸び悩みました。また、産業用事業分野では、大中型生化学分析装置などの売上が減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は167億円（前年同期比3.5%減）、売上総利益は58億1千9百万円（前年同期比11.4%増）となりました。一方、研究開発費が大幅に増えたことなどにより、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ20.8%増加したことから、営業損失は4億1千9百万円（前年同期の営業利益は5千6百万円）、経常利益は6百万円（前年同期比98.5%減）、四半期純損失は4億7百万円（前年同期の四半期純利益は5千2百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。セグメント利益又は損失は、営業利益（又は営業損失）ベースの数値であります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更等を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成し、前年同期比を算出しております。

① 船用事業

船用事業の分野では、漁業市場向けの売上が欧州や国内を中心に増加しました。プレジャーボート市場向けは、北米などで売上が増加しましたが、景気低迷が続く欧州では売上が減少しました。また、商船市場向けの売上は、日本や中国などで減少し、市場全体でも減少しました。この結果、船用事業の売上高は137億1千7百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益は4千7百万円（前年同期比86.7%減）となりました。

② 産業用事業

産業用事業の分野では、医療機器は大型生化学分析装置の販売が低調に推移し、前年同期に比べ売上が減少しました。GPS機器はカーナビゲーションシステム搭載モジュールが堅調であったものの、周波数発生装置などが低調であったため、前年同期に比べ売上が減少しました。また、ETC車載器も売上が伸び悩みました。この結果、産業用事業の売上高は25億4千5百万円（前年同期比13.6%減）、セグメント損失は5億5百万円（前年同期のセグメント損失は3億5千2百万円）となりました。

③ その他

その他の売上高は4億3千7百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント損失は0百万円（前年同期のセグメント利益は8百万円）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期連結累計期間の業績予想を売上高、利益ともに修正いたしました。一方、船用事業、産業用事業とも今後の需要増加が期待できることから、通期連結業績予想は前回発表から変更しておりません。

なお、業績予想の前提となる第2四半期以降の為替レートにつきましては、米ドルは当初の想定レートから5円円安の95円、ユーロは同じく5円円安の125円を想定しております。

【連結業績予想】

第2四半期累計期間 (平成25年3月1日～平成25年8月31日) (単位 百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B)-(A)	増減率	前期実績
売上高	38,000	37,000	△1,000	△2.6%	36,451
営業利益	1,200	400	△800	△66.7%	1,098
経常利益	1,500	1,000	△500	△33.3%	1,405
当期純利益	1,100	400	△700	△63.6%	909

(参考) 通期 (平成25年3月1日～平成26年2月28日) (単位 百万円)

前回発表予想

売上高	75,500
営業利益	2,300
経常利益	2,700
当期純利益	2,000

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,752	9,483
受取手形及び売掛金	18,805	17,425
商品及び製品	15,683	15,884
仕掛品	3,105	4,256
原材料及び貯蔵品	5,086	5,129
繰延税金資産	292	308
その他	2,365	1,731
貸倒引当金	△234	△252
流動資産合計	54,856	53,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,038	4,121
機械装置及び運搬具(純額)	610	656
土地	3,782	3,794
その他(純額)	634	769
有形固定資産合計	9,065	9,340
無形固定資産		
のれん	90	86
その他	3,003	3,037
無形固定資産合計	3,093	3,123
投資その他の資産		
投資有価証券	2,443	2,705
繰延税金資産	1,545	1,410
その他	1,893	1,753
貸倒引当金	△226	△192
投資その他の資産合計	5,656	5,676
固定資産合計	17,815	18,140
資産合計	72,672	72,106

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,136	12,491
短期借入金	4,131	3,096
1年内返済予定の長期借入金	1,061	1,061
未払法人税等	416	414
賞与引当金	1,389	1,956
製品保証引当金	1,069	1,026
その他	4,670	4,814
流動負債合計	25,874	24,861
固定負債		
長期借入金	6,723	6,551
長期未払金	1,262	1,257
繰延税金負債	59	69
退職給付引当金	3,352	3,189
その他	702	721
固定負債合計	12,100	11,789
負債合計	37,974	36,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,534	7,534
資本剰余金	10,074	10,074
利益剰余金	19,952	19,402
自己株式	△179	△179
株主資本合計	37,382	36,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	406	590
為替換算調整勘定	△4,042	△3,001
その他の包括利益累計額合計	△3,636	△2,410
少数株主持分	951	1,033
純資産合計	34,697	35,454
負債純資産合計	72,672	72,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月 31 日)
売上高	17,299	16,700
売上原価	12,077	10,881
売上総利益	5,221	5,819
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	11	10
給料及び賃金	1,717	1,949
賞与引当金繰入額	374	415
退職給付費用	154	108
研究開発費	887	1,560
減価償却費	147	193
その他	1,872	2,001
販売費及び一般管理費合計	5,165	6,238
営業利益又は営業損失 (△)	56	△419
営業外収益		
受取利息	11	6
受取配当金	24	10
保険解約返戻金	53	25
為替差益	215	308
その他	198	117
営業外収益合計	503	468
営業外費用		
支払利息	44	29
違約金損失	95	—
その他	4	13
営業外費用合計	143	42
経常利益	416	6
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	3	—
その他	—	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
投資有価証券評価損	192	128
減損損失	11	1
特別損失合計	204	129
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	215	△122
法人税、住民税及び事業税	112	211
法人税等調整額	40	42
法人税等合計	153	253
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	62	△376
少数株主利益	9	31
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	52	△407

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	62	△376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	184
為替換算調整勘定	1,065	1,084
その他の包括利益合計	1,045	1,268
四半期包括利益	1,107	892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,057	817
少数株主に係る四半期包括利益	49	74

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	船用事業	産業用事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	13,849	2,946	16,795	503	17,299	—	17,299
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10	51	61	196	258	△258	—
計	13,859	2,997	16,857	699	17,557	△258	17,299
セグメント利益 又は損失(△)	359	△352	7	8	16	40	56

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハンディターミナル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	船用事業	産業用事業	計				
減損損失	—	2	2	—	2	9	11

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	船用事業	産業用事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	13,717	2,545	16,262	437	16,700	—	16,700
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	53	53	160	213	△213	—
計	13,717	2,598	16,316	598	16,914	△213	16,700
セグメント利益 又は損失 (△)	47	△505	△457	△0	△458	38	△419

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハンディターミナル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	船用事業	産業用事業	計				
減損損失	—	1	1	—	1	—	1

3 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれておりました航空機用電子装置事業について、当社グループの管理体制の変更を行ったことに伴い、事業セグメントの区分を「産業用事業」に変更しております。また、「船用事業」に含まれておりました一部の子会社について、船用事業との関連性が乏しくなったことに伴い、報告セグメントの区分を「その他」に変更しております。さらに、基幹システムを変更したことにより、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更し、調整額に含めておりました本社管理部門の一般管理費を「船用事業」及び「産業用事業」に配賦しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法及び配賦基準に基づき作成しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。